

はじめに

本書は、以下に挙げた公務員試験種で出題されるマクロ経済学及び経済政策の対策用テキストです（出題科目が経済原論の場合は、そのマクロ経済学の部分に相当します）。作成に当たっては、平成10年以降に公開されている過去問題を分析し、合格に必要な十分な内容の記述に努めました。

本書対応試験種(主なモノ)

国家一般職(旧国家Ⅱ種)、国家専門職(財務専門官・国税専門官・労働基準監督官等)、裁判所一般職、地方上級(都道府県・政令指定都市等)、専門試験のある市役所

効果的に本書を活用していただくために、次のことに留意してください。

①ミクロ経済学後から学習しましょう！

一般に、経済学は、ミクロ経済学→マクロ経済学の順番で学習しておくことが望ましいとされています。本書ならびに付随する講義でも、このことは同じです。

②例題とその解説・補足も重要です！

本書は、より効率的に得点を得て頂きたいため、記述については学術書のような体裁をとっておりません。換言しますと、直感的理解に支えられる部分や、随所にある問題を解きながら覚えていただく部分もあります。

後者のため、教科書的に説明した部分だけでなく、問題やその解説、補足も必ず目を通して、そこで初めて記述した概念・キーワードも吸収するつもりでお願いします。

ちなみに、例題の多くは過去問を採用しています。150問程度の問題を収録していますので、これに取り組むことで合格力を養ってください。

③第1章を学習の見取り図にしましょう！

マクロ経済学は、単純なモデルから徐々に複雑にしていき、一国全体の経済の動きを分析していきます。学習を進めていくと、自身がいまどこを学習しているか見失うときがあります。そのような時は、第1章に立ち返りましょう。本書の記述構成を理解することで、どの学習をしているかが見えてきます。

それでは、試験合格を目指して一緒に学習して参りましょう。